

本館 企画展

文化遺産といきるまち
小樽市歴史文化基本構想の8つの視点
 2018・12/22(土)～3/31(日)

小樽市歴史文化基本構想の調査で記録された、小樽に残され、伝えられた文化遺産群を8つの切り口で紹介いたします。▶場所:本館・企画展示室

企画展関連講座

沖あげ音頭を聞こう
 3/21(祝)13:30～14:30

小樽市指定無形民俗文化財「忍路にしん場の行事」の中から「ソーラン節」ともいわれる沖あげ音頭をはじめ漁労歌を歌っていただきます。保存会の方による歌唱指導もあります。

▶演者:忍路練場の会▶場所:本館・企画展示室

文化遺産フォーラム 文化遺産といきるまち 歴史文化基本構想をどう活かしていくのか

3/2(日)13:30～16:00

『小樽市歴史文化基本構想』策定後、構想や「小樽文化遺産」を今後どのように活かしていくかについて、講師をお招きし討論します。

・基調講演「文化遺産を守り、活かしていくためには」
 ・フォーラム「文化遺産といきるまち 歴史文化基本構想をどう活かしていくのか」

▶講師:岡本公秀氏(文化庁地域文化創生本部 広域文化観光・まちづくりグループ 文化財調査官)、仲田茂司氏((有)仲田種苗園代表取締役、NPO法人ふくしま風景塾理事長)、宮原浩氏(江差町教育委員会主幹)、白鳥陽子氏(Zenibako Style Shop & Gallery店主、小樽観光協会理事)、川上淳氏(小樽市歴史文化基本構想策定委員会委員長、札幌大学教授)▶場所:本館・研修室
 ▶料金:無料

博物館ゼミナール 小樽学



石の街・小樽
石造建築物の魅力を再発見

3/16、23、30(土)10:00～11:30

市内に多数ある石造建築物の魅力について様々な視点から紹介します。

16日「小樽市内の石造建築物の現状と特徴」竹内勝治氏(当館特別研究員)／23日「日本銀行小樽支店と北海道銀行本店および札幌神社社殿の石材の関係」／駒木定正氏(北海道職業能力開発大学校特別顧問)／30日「札幌軟石と北の石文化—小樽軟石の仲間たち」佐藤俊義氏(札幌軟石ネットワーク事務局長)▶場所:本館・研修室

プラネタリウム

冬の番組 2018・12/12(水)～3/11(月)



投影時刻:14:50～(30分間)※土・日曜日、祝日は正午からも。冬の星座、冬のお話「冬の星空動物園」▶場所:本館・ドームシアター
 ▶対象:どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)▶定員:各回33人(先着順)

春の番組 3/13(水)～6/10(月)

投影時刻:14:50～(30分間)※土・日曜日、祝日、春休み期間(3/23～4/7)は正午からも。春の星座、春のお話「ねのほしはうごいている」▶場所:本館・ドームシアター▶対象:どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)▶定員:各回33人(先着順)

チャレンジ ラボ

てのひら水族館

3月の土・日曜日・祝日
 (2日はお休み)



14:00～(約30分間)

吸水性ポリマーを使って、ピンの中で動物が浮かんでいるような置物を作ります。

▶場所:本館・実験室▶対象:どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)▶定員:各回16人(先着順)▶料金:入館料と材料費200円▶申込:ミュージアムショップ「ポッポー」にて当日9:30から受付。

運河館 ウミネコとカモメ

トピック展 1/12(土)～3/28(木)

小樽港周辺で見られるカモメ類について見分け方や生態を紹介します。▶場所:運河館・第一展示室

ギャラリートーク

ウミネコと小樽のカモメたち

3/9(土)11:00～11:30

トピック展「ウミネコとカモメ」の展示解説を行います。講師:山本亜生(やまもとあき;当館学芸員)▶場所:運河館・第一展示室



運河館のひなかざり

2/20(水)～3/4(月)

新旧さまざまなひな人形約10組の展示を行います。▶場所:運河館・第一展示室



うんがかんのひなまつり 3/3(日)

10:30～14:30(12:00～13:00はお休み)

復元商家に並べられたひな飾りの前で和服を着ての撮影(カメラはご持参ください)、お茶会などをご用意しています。▶場所:運河館・第一展示室▶定員:着付けは先着順となります。午前午後とも20組。